



茨城県笠間市の 有機農業について

令和8年1月14日

笠間市 産業経済部
農政課 オーガニック推進室

～目次～

1. 笠間市の概要

2. 有機農業の現状

3. これまでの主な取組

4. 5年後（令和11年度）に目指す目標

1. 笠間市の概要



- 【人口】 70,282人（令和7年10月1日時点）
- 【面積】 240.40km²
- 【耕作面積】 340,046a（2020年農林業センサス）
田： 204,203a
畑： 74,950a
樹園地：60,893a
- 【その他】 栗：栽培面積・経営体数ともに全国一位
小菊：平成5年から茨城県銘柄産地指定

1. 笠間市の概要

2. 有機農業の現状

3. これまでの主な取組

4. 5年後（令和11年度）に目指す目標

2.有機農業の現状

- 有機農業の生産状況
 - ・ 経営体数 13経営体
 - ・ 栽培面積 16.40ha
- 栽培品目の内訳
 - ・ 水稲 4.35ha (26.5%)
 - ・ 野菜 12.05ha (73.5%)
- 有機JAS認証取得
 - ・ 6経営体

※令和6年度環境保全型農業直接支払交付金の有機農業実績値より



1. 笠間市の概要

2. 有機農業の現状

3. これまでの主な取組

4. 5年後（令和11年度）に目指す目標

3.これまでの主な取組

笠間市有機農業推進の経緯

令和6年2月22日

- 笠間市環境農業推進協議会設立

令和6年11月29日

- 有機農業実施計画（5か年）策定

令和6年12月6日

- オーガニックビレッジ宣言

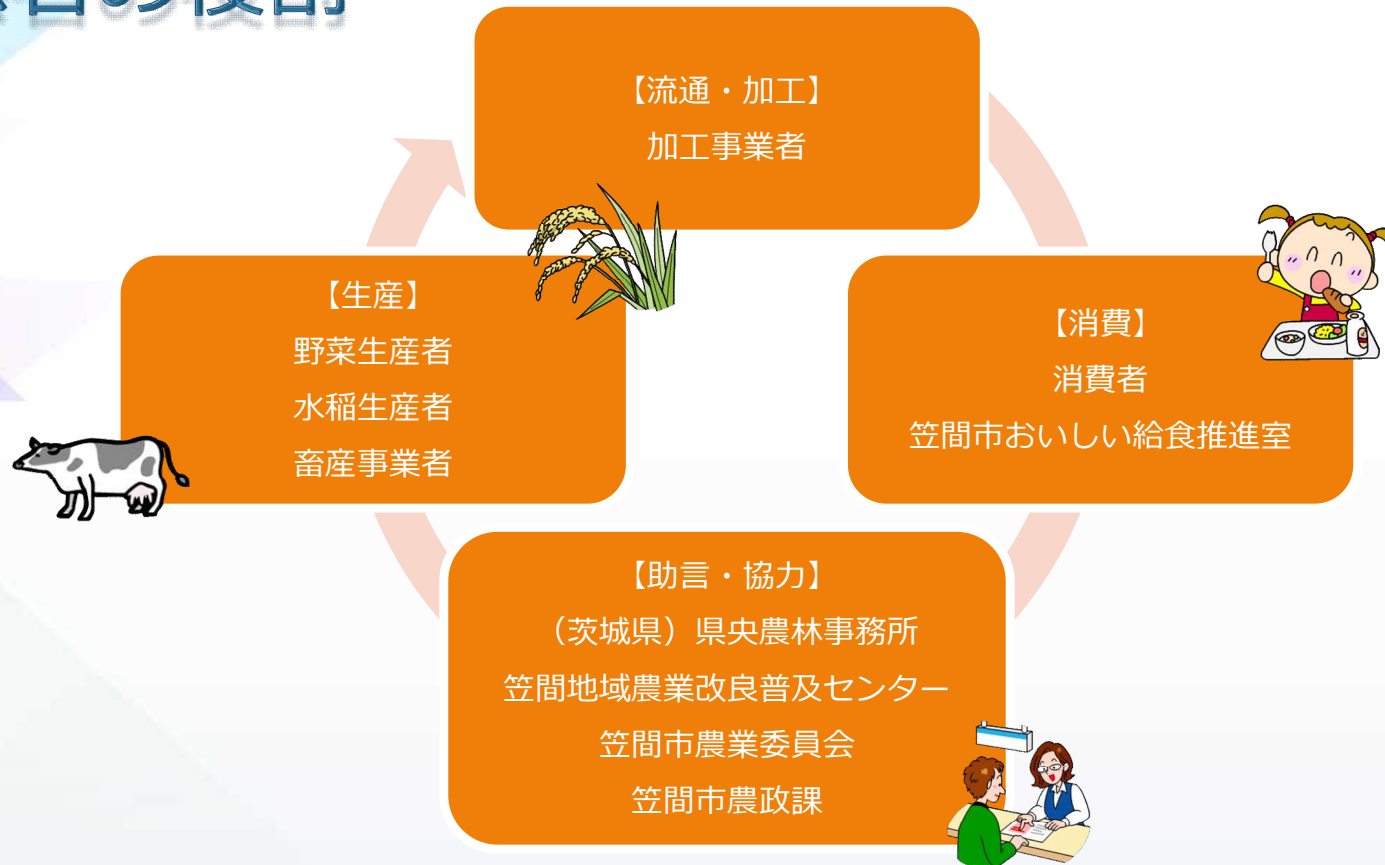
笠間市環境農業推進協議会 構成員 (R7.3月現在)

- ・ 市内生産者（野菜1名、水稲3名、畜産1名）
- ・ 市内加工事業者（栗1法人）
- ・ 笠間市農業委員会
- ・ 笠間市産業経済部 農政課
- ・ 笠間市教育委員会 教育部 学務課 おいしい給食推進室
- ・ 茨城県県央農林事務所 笠間地域農業改良普及センター
- ・ 茨城県県央農林事務所
- ・ （一財）笠間市農業公社

※オブザーバー

（一社）次代の農と食をつくる会

関係者の役割



令和6年12月6日(金) オーガニックビレッジ宣言



笠間市長 山口 伸樹

笠間市では、温暖な気候や肥沃な大地など、栽培環境に恵まれており、稲作を中心に、粟をはじめとした果樹、露地野菜や施設野菜、小菊などの花さといった耕種農業のほか、酪農・肉用牛などの畜産業が行われ、多種多様な農業が営まれています。

特に「笠間の粟」は、全国一の栽培面積と経営体数を誇り、粟の産地として全国に発信し、ん蒸処理から新たなコールドチェーン流通へ切り替え、品質向上に取り組むなど、知名度向上とブランド化を図っております。

このような中、国の「みどりの食料システム戦略」の趣旨を踏まえ、環境に配慮した農業の普及に取り組むことは、笠間市の豊かな自然や資源を未来の子供も達に残していくことに繋がります。

有機農業や慣行農業などの垣根をなくした、誰もが取り組める、持続的で環境への負荷を低減した「環境にやさしい農業」の推進により、農産物の高付加価値化と農家の所得向上を目指すことを誓い、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和6年12月6日

笠間市長





水稲・野菜実証ほ場の設置と講習会の開催

水稲実証ほ場の様子



野菜の有機栽培講習会

参加無料・要申込

有機栽培の経験がない方、市外在住の方でもお気軽にどうぞ！

笠間市 有機栽培講習会

農学博士・木嶋利男先生に学ぶ

**野菜の有機栽培
基礎と土づくり**

2024年
日時 **10月21日** 月
13:30~15:30 (13:00受付開始)

会場：笠間市役所 教育棟 2階会議室 (2-1, 2-2)
定員：50名 (笠間市中央三丁目2番1号)

講師：木嶋 利男 氏 (仮称農法文化研究所)

1948年生まれ東京都生まれ、1987年 農学博士 (東京大学)
都市農業推進総合センター副所長、自治体法政研究会、笠間市議会議員(日本支部)、野菜
研究会、(財)環境科学館研究所、所長、(仮称)農業・園芸・健康研究所、代表
理事なども歴任。プロに習わる家庭菜園の講座(部会別)、コンピュータで学ぶ家
庭菜園(マイエゴ)、施設農業を学ぶ家庭菜園の科学(講義)、コトにオン
アクトン(野菜づくり(産学と市民参加)、野菜・果実園のおいしい野菜づくり(学
習) など多数。

どんな話が聞けるのかな? とご興味のある方は、こちら👉のYouTube動画
『農学博士 木嶋利男 野菜に最適な土づくりを伝授』もぜひご覧ください

主催：笠間市環境農業推進協議会 / 運営：一般社団法人 次代の農と食をつくる会

お申し込みは 笠間市役所 農政課まで ※お名前、ご住所、お電話番号をお伝えください
電話 0296-77-1101 (内) 542 / FAX 0296-77-1146
E-mail nogyoorg@city.kasama.lg.jp 申込多数の場合は抽選となります。



生き物調査事業の開催

田んぼの豊かな生態系を学び、田んぼと生き物の関わりを見つける





1. 笠間市の概要

2. 有機農業の現状

3. これまでの主な取組

4. 5年後（令和11年度）に目指す目標



4. 5年後(令和11年度)に目指す目標

- 有機農業実施計画

- 1.計画期間

令和7年度～令和11年度（5年間）

- 2.目標

- (1) 成果目標（水稻）

- | | | | |
|------------|-----------------|-----------|-----|
| ①有機農業の面積拡大 | (R6年度) 1.5ha | → (R11年度) | 8ha |
| ②有機農産物の生産量 | (R6年度) 4.5～6.3t | → (R11年度) | 30t |
| ③有機農業の生産者数 | (R6年度) 3名 | → (R11年度) | 5名 |

- (2) 波及効果

- ①慣行田から有機栽培への転換による有機農業面積の拡大
- ②新規取組者に対する安定的な販路の創出
- ③学校給食を喫食する児童及び生徒への食育

実施目標について

生産支援

有機を含め、環境にやさしい農業を始めたい方をサポートする場として実証ほ場（学びと実践のフィールド）を拡大していきます！

販路拡大支援

有機農産物やGAP認証された農産物を生産する方を募り安定的な販路創出（学校給食など）と一緒に取り組んでいきます！

循環型社会の創出

畜産農家を作る地元堆肥を田畑で使用（耕畜連携）することにより、資源循環を基軸とした持続可能な農業生産に取り組んでいきます！

KPI（実現目標）

公立小中学校給食への有機米の提供を本格化させ、将来的に市内全16校で100%となる68tを有機米（転換期間中を含む）に転換することを目指します。



IBARAKI PREF, JAPAN

笠間市

CITY OF KASAMA